

白山ふるさと文学賞

第九回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【島清部門】

小学生5・6年小説の部 最優秀賞

# 時を止めた男

金大付属小学校六年

服部 はっとり

柊真 しゅうま

僕はハリット・シューマン、十五才。勉強も運動もさえない中学生だ。そんな僕とは対照的に、急に成績を上げている絶好調な幼馴染みのロイ。どうしてそんなに調子が良いのか聞いても、不気味な笑みを浮かべるだけで何も教えてくれない。その差に、余計落ち込む日々である。

部活が終わり、友達としゃべりながら帰っていると、宿題を忘れてきたことに気づき、すぐさま取りに戻った。誰もいない教室の僕の机の上に何か置いてあるのが見えた。銀色で、懐中時計のような、ストップウォッチのような…。近づくと、文字盤にはローマ数字、そしてボタンのような突起がある。

「何だ？これ。どうしてここに置いてあるんだよ。」

つぶやくと同時に、無意識にボタンを押していた。すると、周りの音が瞬時に止まったように感じ、確かめるべく慌てて窓へ駆け寄った。車が止まり、部活中の人達の動き、散歩中の犬までもが止まっている。僕は好奇心と恐怖心で訳が分からなくなり、無我夢中でボタンを連打した。そのせいで、車や人の動きがカクカクとおかしくなっている。僕はこれが何であるかに気付いた。そうか、これは普通のストップウォッチではなく、時間を止めることができるタイムストップウォッチなのか！

家に帰ると、直ぐお母さんにこのことを話した。実際に、お母さんの前でやってみせたが、僕がボタンを押したせいで、時と共にお母さんも止まってしまった。

「何も変わらないじゃないの。ふざけてないで宿題しなさい。」

説明するのが面倒くさくなり、自分の部屋にもどった。その夜、僕は悪いことを思いついた。

翌日、タイムストップウォッチを持って学校へ行った。

1限目は僕の苦手な社会のテストだ。ボタンを押して時間を止め、テストの答案を書き写した。

2限目は体育で、百メートル走を走った。途中で時間を止め、ゴール前まで進み、時を戻した。タイムは10秒05。中学生の新記録に登録

されるかもしれない。

放課後の部活では、シュートを打つ直前に時間を止め、ゴールを決めた。何もかもがうまくいく。

一週間後、登校すると校舎に垂れ幕が下がっていた。「陸上新記録おめでとう！ハリット・シューマン」

教室の掲示板には試験の結果が貼り出されている。「学年1位ハリット・シューマン」

部活では、憧れの背番号11を渡された。

友達や先生は、僕に「成績が上がる勉強法」・「サッカーが上達する練習法」を聞いてきた。何と答えればいいのか。タイムストップウォッチのおかげです、なんて言えない。困って目をそらしたら、幼馴染みのロイと目が合った。僕に何か言いたそう。そういえば、あいつは僕と反対で、最近調子が下がり気味なような気がする。

こうしてタイムストップウォッチの力を借りた僕は、『文武両道、ハリット・シューマン』として生まれ変わっていった。人に良く見られることは実に気分が良い。学校生活ってこんなに楽しいんだ！そう思っていたら、しばらくの間で…。

一学期の終業式が終わった教室では、塾の夏期講習や部活の合宿の話で皆が盛り上がりつつあった。色々聞かれたけど、僕にはタイムストップウォッチがあるから関係ないと思いついて、適当に話を合わせた。が、合わせているうちに、取り残された気持ちになっていった。

僕が偽りの自分を続けている間も、みんなは努力し続けている。僕はこの一ヶ月、一体何をしてきたのだろう。そんなことを考えていたから涙目になっていたようで、友達が、

「夏休みにオレらと会えなくなるのがそんなに寂しいのか？」

と僕をからかった。そしたら皆が一斉に笑った。僕は、タイムストップウォッチを捨てる決心がついた。

放課後、僕は誰かの机の上にタイムストップウォッチを放り投げた。

「カラン…」  
虚しい音が、静かな教室に響き渡った。

「カラン…」

空っぽのコーヒー缶が床に転がった。どうやら考え事をしていっうちに、居眠りをしてしまったようだ。中学生の頃に経験した不思議な出来事を夢で見た。懐かしいなあ。

私は今、物理学者をして、家族とネコ二匹、幸せに暮らしている。二十年前の出来事は、私に真っ直ぐ全力で生きる決意をさせた。あの日から私は猛勉強をしてこの研究室に入り、タイムストップウォッチの研究を続けている。

あいつは今、どのくらい研究が進んでいるのかな。久しぶりに電話を試してみよう。私は彼の大学の研究室に電話をかけた。

「やあロイ、久しぶり。タイムストップウォッチの研究は、はかどっているかい？」

「おうハリット。こっちは順調だ。」

「それは良かった。必ず解明して、世界を驚かせような！」

時を止めた男、彼らの挑戦はこれからも続く。

